

報道関係者 各位

愛知県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

愛知県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

平成22年3月25日(木)
愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課
新型インフルエンザ対策室
担当 照井・増野 内線 3160・3297
(ダイヤルイン) 052-954-6272

オセルタミビル(商品名:タミフル)に耐性を示す遺伝子 変異を有する新型インフルエンザウイルスについて

本日、新型インフルエンザの感染が確認された患者(2歳女児)から、オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性の新型インフルエンザウイルスが確認されました。

なお、厚生労働省によるとオセルタミビルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

また、報道に際しては、患者のプライバシーに十分配慮していただくとともに、医療機関への直接のお問い合わせは控えていただくようお願いいたします。

1 検査結果

(1) 遺伝子解析(愛知県衛生研究所実施 平成22年3月2日判明)

オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す遺伝子変異を確認

(2) 薬剤感受性試験(国立感染症研究所実施 平成22年3月24日結果連絡)

オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を確認

ザナミビル(商品名:リレンザ)感受性を確認

参 考

耐 性: 薬剤に対して抵抗性を持ち、これらの薬剤が効きにくくなること。

感受性: 薬剤が有効に作用すること。

2 新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)患者の概要・経緯

年 齢	2歳
性 別	女
住 所	小牧市
主症状	発熱(39.5℃)、咽頭炎、下気道炎

経緯	11月22日	発熱(38.4℃)
	11月23日	午前、小牧市内のA医療機関を受診。簡易検査の結果、A型陰性。 タミフル投与。 午後に熱が39.5℃まで上がり、小牧市内のB医療機関を受診。簡易検査の結果、A型陰性
	11月24日	小牧市内のC医療機関を受診。簡易検査の結果、A型陽性
	11月25日	下気道炎が発現
	11月26日	一時解熱
	11月27日	再度発熱(38.4℃)し、C医療機関において検体を採取
	11月30日	解熱し、快復を確認。
	12月24日	愛知県衛生研究所において新型インフルエンザウイルスを分離。

3 その他の検査状況

- (1) 現在までのところ、愛知県衛生研究所において実施した150例の遺伝子解析において、本例を含め4例のオセルタミビルに耐性を示す遺伝子変異を有する新型インフルエンザウイルスを確認しております。
- (2) 全国では66例目の検出例となります。県内では6例目となります。

本件は、平成21年10月8日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務連絡「新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る今後のサーベイランス体制について(改訂版)」に基づき、新型インフルエンザウイルスの遺伝子解析等により薬剤耐性を確認したことから公表を行うものです。